

# 山科としょかんだより

-for teens-

2022年2月



新しく入った多読の本

山科図書館には約1,300冊の多読の本があります。ぜひ手に取ってみてください。



みなさんこんにちは。  
山科図書館キャラクターの「ぶっくろう」です。  
今回は、英語力をアップさせる効果があると言われる「多読」資料をご紹介します。

## 多読とは

山科図書館にある『多聴多読マガジン』によると、「本誌では、「多読」と「多聴」を英語学習の基本と考えています。文字通り「たくさん読むこと」で、多聴は「たくさん聞くこと」です。では「多読」や「多聴」をすれば、英語を話せるようになるのかというと、残念ながらそうではありません。英語を話すためには、英語を「たくさん話す」というアウトプットの訓練が必要になります。しかし、英語をアウトプットするためには、たくさんのインプットが不可欠です。植物が花を咲かせるために根から水をたくさん吸収するように、まずはたくさんの英語をインプットすることが大切です。」とあります。

そして、多聴多読の学習法として、5つの心得を提案しています。

1. やさしいものから始める
2. 単語の意味より、話の筋や流れを優先する
3. 7~9割の理解度でよい
4. 日本語に訳さない
5. 面白いものを選ぶ

また、「YL（読みやすさレベル）」とは、SSS 英語多読研究会が作成した本の読みやすさを判断する基準で、「日本人学習者にとっての読みやすさ」を数値化したものです（0.0~9.9レベル）」とあります。

- タイトル 『Frederick』
- ▲著者名 Leo Lionni
- ◆出版社 Random House

邦題は「フレデリック」

「スイミー」のレオ・レオニーが書いた絵本です。内容が少し難しいかもしれませんが、挑戦してみませんか。



- 『Curious George visits the library』
- ▲Margret & H. A. Rey
- ◆Houghton Mufflin Company

邦題は「おさるのジョージとしょかんへいく」

みんな大好き「おさるのジョージ」です。文章は多いですが、わかりやすい文で書かれています。



- 『Gaspard et Lisa au Japon』
- ▲Anne Gutman,
- [illustrated by]Georg Hallensleben
- ◆Hachette jeunesse

邦題は「リサとガスパールにほんへいく」

フランス語で書かれた絵本です。日本語版と一緒に見て、フランス語に触れてみてください。



このほかにも、『Step Into Reading』のシリーズから「Disney」「Disney Pixar」「Thomas & Friends」などが「多読コーナー」に入りました。



## 京都市山科図書館

〒607-8086

京都市山科区竹鼻四丁野町 34-1 (山科合同福祉センター4F) 電話(075)581-0503

■開館時間 平日 : 午前9時30分~午後7時30分

土曜・日曜・祝日 : 午前9時30分~午後5時

■休館日 毎週火曜日 (火曜日が祝日の時はその翌平日), 年末年始